



## 会費のご協力をお願い

会長 寺西 啓三（20期）

平成5年（1993年）に再結成しました、寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会では、現役部活への支援、会員相互間の親睦を旨とし、現役との伝統行事であります、正月・盆の交流試合、会員の情報誌として、年2回の会報の発行活動を柱に、活動しています。

しかし、今回お願い申し上げますのは、その活動の礎であります財政につきまして、OB・OG会発足当初は100名近くの方に、会費の納入のご協力をいただいていたのですが、近年は50数名という状況が続いています。（P3、平成26年度収支報告書、参照）

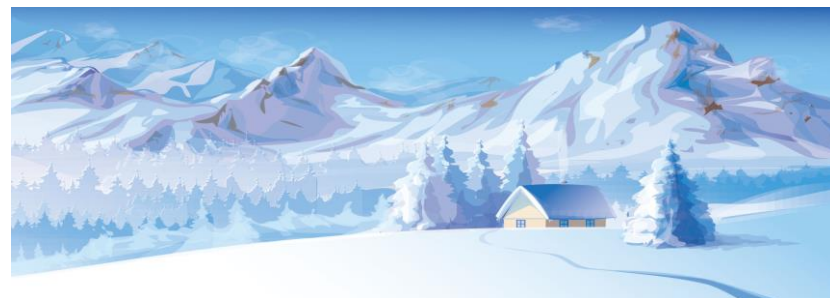
特に今年4月より、会報の発送費が、従来のクロネコヤマトのメール便（送料84円）の、取り扱いが廃止となり、同じ大きさの郵便料金では140円となり、OB・OG会財政の圧迫となりました。

役員会では、現役への支援、正月・盆の交流会の縮小、会報の発行回数の減少等を検討しましたが、これら活動の縮小は、OB・OG会の衰退・消滅へと繋がるものと危機感を抱きました。

当面、今回の会報より、年配の会員の皆様には、字が小さくなり読みにくくて申し訳ございませんが、会報用紙をA3→A4サイズに、縮小（送料92円）させていただきます。（財政、回復時には、A3サイズに復元も考慮）

設立当初より、会費納入につきましては、OGの親睦会の3・15会の方を中心に、固定的に永らく協力いただいている方が多いとともに、65才以上の年金世代の方が、納入者の2/3を占めている、状況です。

永らく続いたデフレ経済の回復も十分でない中、現職世代も含め、まだまだ厳しい状態が続きますが、今後の寝屋川高校ハンドボール部、及び、OB・OG会の活動の存続・継続を願い、会員915名の皆様に、年間5,000円と高い会費ではございますが、会費納入のご協力を、お願い申し上げます。



## 現役の活動状況

女子

7代目顧問 赤星 明

### 第70回高校秋季総合体育大会

8月9～19日 参加校43チーム

[オープントーナメント方式]

2回戦 ● 寝屋川 13-20 桜塚

### 第67回高校新人大会、兼、第39回全国選抜予選大会

10月25～11月26日 参加校41チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

○ 寝屋川 15-6 牧野

● 寝屋川 7-11 北野

(北ブロック大会・トーナメント、出場ならず)

夏の合宿での練習試合は、23勝1分けでした。

シードチームの春日丘に、引き分けた以外は、すべて勝利しました。

むろん、そんなに強いチームが、集まっていたのではないのですが・・・、その流れで、夏の総合大会に、臨みました。

しかし、桜塚高校に、惨敗しました。

相手チームには、中学の時に、JOCに選ばれていたエースがいました。

その選手に、半マンツウマンの形で、望みました。

しかしマークしきれず、なんでもないシュートも、キーパーが取れず、敗れました。

寝屋川高校のキーパーは、1人しかおらず、怪我也多く、満足に練習が、できていませんでした。

やはり、キーパーは、大事です。

特に、高校の、女子のチームでは。

私が、西寝屋川高校の時代に、中央大会で四天王寺高校と戦って、6:10の試合をしたことがありました。

前半4:6で、本部席に帰って休んでいると、何人かの先生から、「西寝屋川高校、ひよとしたら・・・」と、言われました。

そのときのチームは、キーパーがうまく、四天王寺高校のスピードパスにずらされて、サイドシュートを打たれましたが、ほとんど止めてくれました。

四天王寺高校を、10点に抑えたのは、この時だけで、後は30～40点を、取られています。

それと、私が寝屋川高校に来て1年半、10年前のチームが、スーパーシード（大阪ベスト4）をとったのも、キーパーのおかげでした。

相手の得点を、10点以下に、抑えてくれました。

むろん、1点差の試合で、勝ち進んだのですが・・・、試合の終了後、すぐに3名の選手に、「キーパーを、やってくれないか?、3ヵ月後の新人戦には、すこししんどいかも知れないが、9ヶ月後のインターハイ予選には、間に合う」と、言いました。

その結果、1年生1名、2年生1名がキーパーをやってもいいですと、申し出てくれました。

新人戦は、春に負けた、北野高校とでした。

相手の新チームは、春の時のチームと違って、目立った選手もなく、普通のチームでした。

しかし、女子の試合は、やってみなくてはわからないと、この時思いました。

ノーマークシュートを、ことごとくはずし、ポストシュート4本、サイドシュートも、ほとんど入りませんでした。

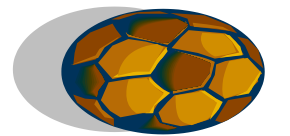
反対に、相手のサイドシュートが入り、勝てませんでした。

今までやってきた中で、一番不本意な試合でした。

終わって、ビデオを見ていても、腹が立って、見るのを、やめたほどでした。

しかし、この敗戦で、チームのムードも変わり、本当に、気持ちが変わった、気がします。

来春のインターハイ予選には、10年前のノーシードから、大阪のスーパーシードをもぎ取った、あの感動を、もう一度、味わいたいと思っています。



### 女子キャプテン 2年生 石森 みなみ

私たちは2年生12人、1年生7人、マネージャー3人の、計22人で、毎日活動しています。

3年生が引退し、新チームとして、活動し始めてからすぐの、堺の大会では、技術的にも、メンタル的にも、まだまだ未熟で、初めて自分達の、甘さを実感しました。



## 男子

8代目顧問 堀川 美子 (27期生)

### 第70回高校秋季総合体育大会

8月9～19日 参加校66チーム

[オープントーナメント方式]

2回戦 ● 寝屋川 15-23 同志社香里

### 第67回高校新人大会、兼、第39回全国選抜予選大会

10月25～11月26日 参加校65チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

● 寝屋川 13-21 春日丘

● 寝屋川 17-24 北野

(北ブロック大会・トーナメント、出場ならず)

3年生(68期生)が引退し、秋季大会に向けて、新チームでの練習が、始まりました。

夏休みには、例年通り、但馬ドームでの合宿。

今年は、インターハイが大阪で開催され、役員である私は、7月の末から、生徒の練習を見ることができず、また、秋季大会の前ではありましたが、部員たちも、役員として、金岡体育館で、大会の仕事を、手伝ってもらいました。

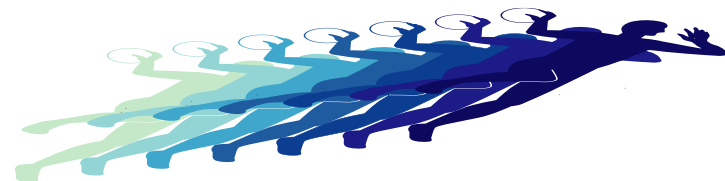
レベルの高い試合を、間近で見れることが、滅多にないので、生徒たちに、プラスだったと思います。

金岡体育館の試合終了後の時間に、その日見た、すばらしいプレーをイメージして、練習をさせてもらいました。(現実は・・・?)

秋季大会は、同志社香里高校と、対戦しました。

同志社香里は、3年生が主体のチームで、ディフェンスや攻めに、チーム力が感じられました。

寝屋川高校は、それぞれが、上手くはなっているのですが、追い詰められると、最後のシュートに決定力がなく、ノーマークをはずしてしまうところを、何とかしなければなりません。



同志社は、寝屋川に勝ってからも、4回戦まで勝ち上がり、関大北陽高校に、惜敗していました。

新人戦までには、時間があつたので、さあ、これから練習に励んでくれるのかなと思いきや、練習中に「できない」とか、「無理や」が先行する、マイナス思考の部員たち。

「どこまで、マイナスやねん??」、プラス思考の私にとって、理解を超える考え方の続出で、男子ハンドボール部は、崩壊か?、まず、もともと5人と、人数の少ない1年生ですが、このままだったら、来年1年生が入部してこなくて、チームが存続できないのではないかと、不安になり、2名が他のクラブへ、移ってしまいました???

2年生も、「立ってるだけやったら、いらん」と言われ、いらん人間やと、クラブをやめると言い出す部員が・・・、ミーティングを行い、どうにか元の鞘におさまり、落ち着いたのが、新人戦1週間前。

抽選で引いたのが、春日丘高校と、北野高校。

どちらも前評判がよく、「どうして、戦おうかな?!」と、考えたのが3-3ディフェンス。

前の3人は、小さいけれど、カットがねらえる選手を置き、攻撃的に挑戦しました。

しかし、またしても、フェイントで抜かれそうになったら、「もうあかん」、フォローに行かなくてもよいのに、「行かなあかん」、せっかくカットをしても、「シュートを、決めなあかん」と、キーパーの足に・・・、ここ数年、寝屋川高校男子ハンドボール部に、まとわりつく、超マイナス的な考え方。

これから、来年4月末のインターハイ予選までに、絶対、この考え方を、変えさせてみせます。

### 男子キャプテン 2年生 中澤 祐登

私たち男子は、2年生11人、1年生3人 計14人で協力して、毎日頑張って、練習しています。

3年生の先輩方の、攻撃的なディフェンスからの、素早い速攻、戦略的なオフェンスは、見ていて、いつも圧倒され、自分たちも早く、先輩たちのような、ハンドボールができるようになりたいなど、思っていました。

その先輩方は、春の大会で、箕面高校と対戦しました。

得意のディフェンスからの、速攻に持ち込むことができず、相手ペースでの苦しい結果と、なっていました。



それでも、最後まで諦めずに、戦っておられたのですが、悔し涙を流され、引退されました。

僕たち2年生、1年生は、決して、能力は高くはありませんが、「チーム一丸」で戦うことを意識して、練習しています。

今年は、1年生が3人と、いつになく部員が少ないのですが、素直で、飲み込みが早く、2年生と、常に一緒に練習・練習試合をしているので、上達スピードが、速いです。

「追いつけ、追い越せ!」と、1・2年生関係なく、皆で頑張って、練習をしています。

夏の大会では、同志社香里高校と対戦し、相手の個人の能力の高さに、対応することができず、負けてしまいました。

新人戦では、リーグ戦で、春日丘・北野高校と、対戦しました。

春日丘高校戦は、序盤、自分たちの武器である、ディフェンスからの速攻で、リードを奪うが、すぐに相手の流れになってしまい、負けてしまいました。

北野高校戦では、相手の身体の大きさに、圧倒され、「試合内容では、負けていないのに、結果は負け!?!」と、課題が多く残る、試合となりました。

OB・OGの方々の援助で、体育館での練習ができたり、物品補助をしていただき、感謝しています。

まだ、公式戦で1勝もできていない、僕たちですが、春の大会で、よい結果を、この会報に載せられるよう、もっと、練習して、自分たちの弱点を、克服出来るよう、全力で、練習に取り組んでいきます。



## 第23回 総会報告

2014年度のOB・OG会総会が、8月22日(土)、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後1:00からセミナーハウス(旧、北水会館)3階で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

[議題]

1. 22期(平成26年度) 活動報告
2. 22期(平成26年度) 会計報告
3. 22期(平成26年度) 監査報告
4. 23期(平成27年度) 活動計画(案)
5. 23期(平成27年度) 予算(案)
6. 23期(平成27年度) 役員体制



### 第22期(平成26年7月1日～平成27年6月30日) 活動報告

日時	活動	会場	参加者
2014 7 10 土	会報発行	寝屋川高校・セネハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セネハウス	9名
8 23 土	第22回OB・OG会総会	寝屋川高校・セネハウス	10名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	92名
10 4 土	役員会	寝屋川高校・セネハウス	7名
12 6 土	会報発行	寝屋川高校・セネハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セネハウス	8名
2015 1 10 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	62名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セネハウス	78名
3 6 金	67期生(2015.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セネハウス	24名
5 16 土	役員会	寝屋川高校・セネハウス	14名

### 第23期(平成27年7月1日～平成28年6月30日) 活動計画(案)

日時	活動	会場	参加者
2015 7 11 土	会報発行	寝屋川高校・セネハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セネハウス	13名
8 22 土	第23回OB・OG会総会	寝屋川高校・セネハウス	名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
10 10 土	役員会	寝屋川高校・セネハウス	名
12 12 土	会報発行	寝屋川高校・セネハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セネハウス	名
2016 1 9 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セネハウス	名
2 26 金	68期生(2016.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セネハウス	名
5 14 土	役員会	寝屋川高校・セネハウス	名

[平成27年度役員] 53名

会長	寺西啓三(20期)	小合省三(24期)
副会長	菊地和代(21期)	木村慶次(18期)
幹事長	田中裕一(31期)	古本まみ(22期)
幹事	谷村千津子(18期)	久木久美子(33期)
〃	小森園多恵子(22期)	稲葉清志(43期)
〃	甫田裕佳里(29期)	中東大輔(58期)
〃	大塚万里子(33期)	田村英明(59期)
〃	谷和哉(44期)	河野あゆみ(63期)
〃	北崎千咲子(59期)	四田裕則(63期)
〃	藤澤美穂(63期)	山本幸夫(63期)
〃	東別府朋子(63期)	徳谷美緒(64期)
〃	山里順也(63期)	湯川広樹(64期)
〃	嶋戸美音(64期)	新本崇順(64期)
〃	樋渡梨奈(64期)	井上貴子(65期)
〃	青木達哉(64期)	篠原英里子(65期)
〃	田村佳太(64期)	西垣智哉(65期)
〃	山崎史帆(65期)	富岡浩紀(65期)
〃	吉本実奈美(65期)	古川七海(66期)
〃	妹尾直樹(65期)	中川諒(66期)
〃	花光真紀(66期)	永田屋悠人(66期)
〃	天日菜津子(66期)	日高沙耶(67期)
〃	佐藤昇五(66期)	高橋宜希(67期)
〃	仲野美乃里(67期)	加藤匡裕(67期)
〃	岩崎夏子(67期)	井上武久(23期)
〃	高橋大地(67期)	今堀太逸(21期)
会計	津熊美智子(18期)	吉田雅子(29期)
会計監査		大森孝志(31期)
相談役		

### 平成26年度収支報告書 (H26.7.1～H27.6.30)

項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	240,565	
会費収入	280,000	26年度 @5,000×54名、@3,000×1名、@2,000×1名 27年度 @5,000×1名
特別会費	24,500	ナイターハンド会費 @500×33名 新年ハンド会費 @500×16名
雑収入	62	貯金利息62円
計	545,127	
(支出の部)		
事業費	61,104	ナイター会食費 33,745円 新年ハンド会食費 27,359円
援助金	60,000	現役援助金他
通信費	138,511	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	19,051	封筒代他 7,258円、HP運営費 11,793円
備用品費	2,101	事務用品
雑費	14,978	広告料(近畿大会) 10,000円、郵便振替手数料他 4,978円
慶弔費	0	
記念事業積立金	0	
計	295,745	
差引剰余金	249,382	

項目	金額	摘要
前期繰越金	820,000	
繰入金	0	
取崩金	0	
翌期繰越金	820,000	

以上、平成26年度の収支報告を致します。  
寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会  
会計 井上武久 @

上記の収支報告書は、平成26年度の収支の状態を正しく表示しているものと認めます。  
平成27年7月31日  
寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会  
会計監査 今堀太逸 @  
吉田雅子 @

### 平成27年度予算書 (H27.7.1～H28.6.30)

項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	249,382	
会費収入	350,000	27年度@5,000×70名
特別会費	20,000	@500×20名 2回
雑収入		
計	619,382	
(支出の部)		
事業費	120,000	ナイター・新年ハンド会食費他 68,000円 OB・OG会入会式 52,000円
援助金	60,000	平成28年現役援助金50,000円他
通信費	215,129	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	37,000	会報作成費・HP維持費他
備用品費	5,000	事務用品他
雑費	19,800	振替手数料、広告料他
親睦会活動費	160,000	
記念事業費繰入金	0	
計	616,929	
差引剰余金	2,453	





## 2015年 盆サマーハンド 報告

副会長 小合 省三 (24期)

今年も、ハンドボール部の現役参加のもと、恒例のOB・OG会の盆サマーハンド・懇親会が8月22日(土)、OB・OG会終了後、現役を含む76名の参加により、開催されました。

最初に、現役とOB・OG会の、親睦試合を行いました。

今年は、現役、若手のOB・OGの参加も多く、共に頑張ってくれ、緊迫した試合でした。

その後、冷房の効いた北水会館で、懇親会恒例のビンゴゲームを行いました。

景品を受け取る時には、恒例になっている、自分の名前と、出身中学と、一言抱負を、語っていただきました。

その後、寺西会長から、現役キャプテンに、援助金の授与を行いました。

そして、最後には、年々減っている、OB・OG会の会費の支払いについての、お願いをさせていただきました。

このままでは、あと数年でOB・OG会は赤字になり、維持、存続が、できなくなります。

つまり、現役への援助も、このような集まりも、なくなる話も、させていただきました。

そして、現役の方に、OB・OG会が、無くなっても良いのかも、聞きました。

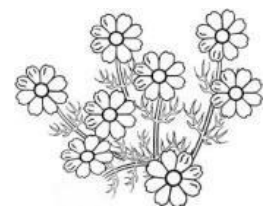
もちろん皆さん、OB・OG会の継続に、手を挙げてくださいました。

厳しいOB・OG会の、会計の状態を、理解していただき、御一人でも多くの方が、会費をお支払くださるよう、お願いさせていただきました。

また、現在、学生、社会人で、ハンドボールを寝屋川高校のOB・OGクラブとして、モッピークラブ以外で活動されている方、是非ともご連絡ください。

できるだけの援助を、させていただきたいと思えます。

そして、OB・OG会の輪が広がれば、幸いです。



## 2015年 新年正月ハンドボールのご案内

現役男女が元気で

OB・OGの皆さんの、多数の参加をお待ちしています

今年度も、新年恒例の「正月ハンドボール」を、下記のとおり開催いたします。

8月の「盆サマーハンドボール」と共に、年2回のOB・OGと現役との親睦をはかる、長年続いてきた大切な行事です。

久しぶりにハンドボールに触れたり(応援だけでも結構です)、親睦試合後の温かい豚汁などいただきながらの、恒例のビンゴゲームでの懇親会、2次会も計画しております。

一人でも多くの方々に参加していただき、大勢のパワー溢れる現役と共に、ハンド仲間の楽しい激励・交流会にしましょう。

同級生・先輩・後輩方に、声を掛け合い、お誘い合わせの上、是非ともご参加下さい。

日時：2016年1月9日(土)

親睦試合：12:00~14:30 ハンドボールコート

新年会：15:00~16:30 セミナーハウス(旧、北水会館)3階

会費：500円

2次会：17:00~ がんこ寿司・寝屋川店

<雨天の場合>

新年会：12:00~14:00 セミナーハウス(旧、北水会館)3階

## 会計よりの、御礼とお願い

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、又、次表の皆様には、平成27年度会費を納入いただきまして、厚く御礼申し上げます。

現在、OB・OG会は、会員の増加により、会報発送の為の費用が、年々増加し、財政状況が、非常に厳しい状態となっています。

会員の皆様には、今後とも、会費の趣旨をご理解いただき、本会の発展、並びに、円滑な運営を行う為、平成27年度会費の年会費の納入につきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みは、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みで、お願いいたします。

### ・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には、「¥」を書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に對しての、ご意見や近況報告など、お書きください。

### ・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒサ)

### ・年会費：社会人 5,000円

学生 免除(正月、盆サマーハンドへの参加を優先する為の、運用上の特別扱いとします。)



## 平成27年度(2015.7~2016.6月)

### 会費納入者

平成26.11.17現在

- 3期 大槻明子 睦月欣子 村田芳子 梅垣修三 中嶋直彦
- 5期 中東義治 樋上重夫
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 長澤邦子
- 12期 尾亀敬子 小谷吏佐子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 16期 大西武三 木野実 多賀谷博康
- 17期 中田順子
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子
- 19期 吉田裕紀
- 20期 仲尾由紀子 香西安勝 寺西啓三
- 21期 梅垣三七子 菊地和代 山本晶子 今堀太逸 松尾信一郎



- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久
- 24期 小合省三
- 26期 地原繁信
- 27期 渡部安晴
- 29期 甫田裕佳理
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 33期 大塚万里子
- 43期 小林恭子
- 44期 谷和哉
- 52期 小林加奈子
- 59期 北崎千咲子 泊智佳子



## OB・OGの、ハンドボール取り組み

### [1] 第11回ウェルネス・ハンドボール・フェスタ報告

小合 省三 (24期)

2015年10月17日(土)に、第11回ウェルネス・ハンドボール・フェスタが、寝屋川市民体育館で、実施されました。

今回は、スケジュールの都合で、大阪と兵庫の30チーム(10クラブ)の、参加となりましたが、200人もの選手が、参加してくれました。

最近の進化している、大会運営を、ご報告させていただきます。

#### ①得点記録方法の簡素化

今までは、得点をした選手の番号を、時間表に記載していましたが、○の表示だけで済むように、なりました。

記載が簡単で、記録係の人にも、好評です。

#### ②チームの得点表示場所の増加

今までは、チームの得点経過を、本部横の表示板か、本部に問い合わせをしていましたが、最近では、1階の入り口と内側2階の入り口と内側に、掲示するようにして、選手や見学者の方にも、喜んでいただいております。

また、今回も、多くの寝屋川高校ハンドボール部OB・OGの方々が、協力していただきました。

大会会長の新堂達夫さん(16期)、平井謙二さん(13期)、大会事務局長の加堂政則さん(14期)、谷村千津子さん(18期)、平井晴美さん(19期)、松尾信一郎さん(21期)、小野千秋さん(29期)、甫田裕佳理さん(29期)、谷和哉さん(44期)、そして、実行委員長の赤星明さん(寝屋川高校、7代目顧問)の、方々です。

ご協力、有難うございました。

今回も、小学生、中学生のプレーとしては、卓越した人が、数人おられました。

オリンピック、世界選手権に向けて、素晴らしい指導・監督をしていただき、いつかラグビーのように、日本で、そして世界で、注目される日を、心から祈っております。

さて、来年は、どんなスーパースターが現れるか!、今から、楽しみです。

### [2] 第23回全日本マスターズハンドボール大会に参加して

小森園 多恵子 (22期)

7月31日(金)~8月2日(日)愛知県豊田市で行われた、全日本マスターズハンドボール大会に、今年も「モッピークラブ」として、参加しました。

1993年の第1回大会から23年間、第3回大会以外は、すべて参加し続け、2年前の第21回大会(岩手県花巻市)では、20回出場チームとしての、表彰を受けました。

今年は、大阪インターハイと、日程が重なり、高体連関係のメンバーが、参加出来なかったり、いつものメンバーも、それぞれの事情で、なかなか集まらず、最初は、不参加も考えました。

それでも、「継続は、力なり」と言う、望月先生(4代目顧問)の言葉に支えられている、我が「モッピークラブ」としては、例え60才以上ばかりのメンバーでも、参加することをやめてはいけないという、義務感にも似た思いで、必死でメンバーを集めました。

筑波大の先輩や、後輩に連絡して、全国各地から助っ人を頼み、最終的には、筑波大OG5名(68才千葉、60才埼玉、57才静岡、53才東京GK、38才東京)と、大阪勢6名(64才3名、42才、41才、40才)の11名に、応援団として、津熊さん(18期)と、菊地さん(21期)を合わせた13名で、試合に臨むことが、出来ました。

結果は、3試合の内、2試合は完勝、1試合は1点差の惜敗という、すばらしいものでした。

なんとと言っても、ポイントゲッターの38才筑波大OGは、4才と1才の息子2人を連れての参加で、津熊さんと菊地さんの、子守での大活躍がなければ、この2勝はなかったかも、知れません。

さらに、大西武三さん(16期)が、望月先生の代わりだと言って、ベンチに入って下さったのも、楽しい思い出でした。

来年の開催は、愛知県豊橋市(平成28年8月19日(金)~22日(日))の、予定です。

私も、来年の大会は、65才としての登録になります。

いつまで出来るか分かりませんが、あちらの世界で、望月先生に会った時に、ほめてもらえるように、この「モッピークラブ」は、存続させて行くつもりです。

35才以上の、寝高OGの皆さん、どしどし参加してください。

お待ちしております。



### [3] ハンドボール豊中大会に参加して

日高 沙耶 (67期)

6月13・20日に、ハンドボール豊中大会が、開催されました。

1日目は、私達67期と、62期の先輩の、計8人で出場しました。試合中の交代が、あまりできず、体力的には、しんどかったです。久しぶりに、みんなとハンドができて、とても楽しかったです。

結果は、6:12で負けてしまいましたが、いい試合をできたと思えます。

2日目は、67期3人、66期の先輩3人、59期の先輩3人の、計8人で出場しました。

試合は、先輩と後輩が、たくさん点を入れてくれたおかげで、16:14で、勝つことができました。

先輩方とは、初めて、一緒にプレーをしましたが、伸び伸びとプレーできて、とても楽しかったです。

先輩が忙しい中、試合に参加して下さって、また、OB・OG会が、大会の登録費と参加費を、出してくださったおかげで、豊中大会に参加することが、できました。

コーチにも来ていただいて、とても心強かったです。

いろんな代の人達と、ハンドボールができて、本当に、いい思い出になりました。

ありがとうございました。

秋の豊中大会は、選手みんなの都合が合わず、参加できませんでしたが、また、みんなで試合に出ようと、考えています。

その時には、もっと練習を積んでから、試合に臨みたいですね。

豊中大会の出場の話をもちかけていただいた赤星先生(7代目顧問)、OB・OG会、コーチ、先輩のみなさん、ありがとうございました。



## 会員だより

### 16期 木野 実

#### ハンドボールの極意は「機・度・間」

寝屋川高校ハンドボールでの3年間は、11人制と7人制（2年生秋から、全国統一された）を、経験することができた。

ハンドボールの本場欧州では、今でもオールドマン？が、11人制を楽しんでいる。

11人制は、サッカーと同じ広さで、ディフェンスとオフENSEの、分業制になっていた。

あの広いコートで、ドリブルはしないハンドボールが、寝屋川の神髄であった。

7人制でも、しかりであった。

その為、ディフェンスからオフENSEまで、ボールを運ぶのは、大変だった。

また、攻撃はドリブルができないので、如何にいいタイミングで、空いているスペースを見つけて、攻撃するかである。

その時、一番大事なのは、走る（動きだし）タイミングでこのことを、中出先生（3代目、顧問）から、口酸っぱく言われ、何度も何度も、みんながやり直された。

中出先生の、タイミングをとる事の指導だけでも、これ程徹底し、厳しくいう人は、少ないのではないだろうか。

まさしく、「凡事徹底」である。

従って、高校3年間は、フエントらしきものは、やったことがなかったし、ドリブルなしの、ローリング戦法（クロス）が、ほとんどであった。

ある時、某先輩が、試合中ドリブルしたために、コート外に出され、「そんなに、ドリブルがしたいのなら、ずっとドリブルしとけ」と、いわれ、試合終了まで、ドリブルをやっておられたことを、今でも覚えている。

その後、誰かがドリブルしたため、味方に「取ってくれ」と言ってる間に、目の前のボールを相手に取られたため、「何故、すぐに、ひろわなかったんだ」と、怒られる始末。

この矛盾に、いかに苦労したことか。



ローリング戦法は、まさしく、タイミングが命であり、「機」は機会である。

タイミングを合わせると、いい結果が生まれる。

中出先生、また先輩からも、うまくいかかないのは、タイミングが悪いからと、指摘され、その為、どこに動いて、どうしたら、いいタイミングが取れるかが、出来るようになった。

チームメイトへの、声をかけるタイミング、パスする、キャッチするタイミング、全て、タイミングである。

いいシュートの前には、必ずいいパスが、いつているはずである。

そこに、心（気持ち）を込めることも、大事である。

「座」とは、度合い。

何かを行うときの、強さ、弱さの加減である。

ハンドボールでは、なんでも強さ、速さだけでは、相手を出し抜くことは、できない。

強弱を、うまく使い分けることである。

パスでは強すぎても、弱すぎてもだめで、その場面にふさわしいパスが、あるはずである。

それを意識しないと、闇雲のプレーになってしまう。

日常でも、せっかくのいいアドバイスが、言い過ぎたのでは、お説教にもなるし、相手は耳をふさいでしまうことも、しばしばある。

「間」は、間合い。

ハンドボールでいう、距離間を、どうとるかである。

また、時間的には、リズムということだろうか。

相手に、つかまらない、ストップされない「間合い」は、シュートする時、GKのつめる距離、また、プレーを継続するには、一番大事なことである。

昔は松脂、テープもない時代に、接触すれば、ボールを落とすことが多かったので、いかに間合いを取って、接触を避けるかを、考えていた。

ハンドボールのプレーは、どの場面で、どの技術を、どの動作で、実行するかである。

かの有名な、サッカーのネイマール選手は、「試合中、何を考えているか」の問いに、①試合の展開、②相手ディフェンスの、位置、③味方、自分の位置、そして、④自分が、何をなすべきかの、4つを話している。

この「機・度・間」は、全体の技術を修める心得として、言われていることだが、ハンドボールの極意としてでも、この3つは大事で、私は高校時代に、中出先生、望月先生（4代目、顧問）、先輩から、教えていただき、叩き込まれたことが、その後ずっと、生かされ、支えになっていた。

人生における、邂逅の三大法則は、よき先生、よき友、よき読書といわれるが、高校時代に巡り合った中出、望月両先生はじめ、よき先輩、同僚、後輩に出会い、厳しく、心温まる指導をしていただき、成長させて頂いたことは、本当に有難いことだった。

また、ハンドボール以外、今でも諸先輩との交流の中で、多くの示唆を与えていただき、心を豊かにしてくれたことに、心から、感謝の気持ちで一杯である。



### 20期 仲尾 由紀子（旧姓、坂倉）

ご無沙汰しております。

なかなか参加できなくて、失礼ばかりで、すみません。

（会費も）滞納しないよう、気をつけたいと思います。

### 52期 小林 加奈子（旧姓、南口）

いつも、会報を送って下さり、ありがとうございます。

現役の皆さんの頑張りや、OB・OGの皆様の、ご活躍を拝見させて頂き、いつも元気をいただいております。

このたび、私達の顧問をして下さり、温かくご指導いただいた大森孝志先生（6代目、顧問）が、寝屋川高校准校長にご就任されたとのこと、おめでとうございます。

大森先生には、「しんどい時に踏ん張る力、励まし合う姿勢」を、教えていただき、そのことは卒業してからも、大学・社会人になってからと、いろいろな苦しい場面で活かされ、もう一歩前へ進む力となっています。

心より、感謝しています。

今も、52期メンバーで集まり、たくさん笑って、たくさん語って、たのしい時間をすごしています。

それぞれの道に進んでも、大切に思い合える仲間がいれることを、本当に嬉しく思います。

私は、この夏より、夫の勤務の関係で、福井県に転居することとなりました。

新たな生活、頑張ります。

会報編集に携わって下さっているOB・OGの皆様、先生方、現役の皆様、いつも本当にありがとうございます。



## リレー伝言板

### 18期 小寺 鈴子

まず始めに、日頃のごぶさたを、お詫びします。

帰りの京阪電車寝屋川市駅の階段を、かけ上がりながら、「小寺さん！早く！」と、満起ちゃん（19期、大西満起子）の、叫び声。

「私が、小寺さん！」と、改札口をすり抜けて、飛び乗った車中での大爆笑。

「顔パスはあるけど、小寺さんパスは始めて！」と、津熊さん（18期、津熊美智子）の、指摘。

今回、リレーバトンを、渡してくれた、満起ちゃん！、覚えていましたか？、あれからもう、半世紀近くが、過ぎてしまったのですね。

卒業する迄、ハンドボールのルールを、覚えることのなかった私が、よくマネージャーが務まったものだと、今更ながら、感心します。

只、選手の健康面だけは、自分なりに、支援してきたつもりです。練習中や試合中に、水分補給の出来なかった時代。

考えた結果が、レモンの蜂蜜漬け。

V・Cと糖分、そしてわずかながらも、水分も補えるであろうと、試合には、必ず準備していました。

又、プレー中の選手の顔色、表情、わずかなくせで、彼女達の疲労度と心理状態が、わかるようになっていました。

でも・・・、レナウンでの合同合宿の折、練習が終わった後、皆が、水も飲まず、放心したように、倒れこむ姿を前にした時、自分の無力さに、歯ざしりしました。

只一口でいいから、食事を口にして欲しいと、頼むやら、怒るやら・・・。

皆が倒れている中を、一人うろうろ、していました。

実業団に行かれた、先輩方の、心身の強さを、ひしひしと感じた、合宿でした。

母校での合宿の折に、かけつけて下さった魚住先輩！（17期、魚住汎代）、お父様から、帰宅命令がありましたね。



帰りたくない先輩の代理で、電話対応に出たのは良かったけれど、何度目かのやり取りの後、お父様を、怒らせてしまいましたね。

お父様は、ご健在ですか？

又、同じく、かけつけて下さった川口先輩！（17期、川口佳子）、内密で預かった手紙を、望月先生（4代目、顧問）に見つかり、取り上げられてしまいましたね。

両先輩！ごめんなさい。

振り返ってみると、試合内容は、何一つ覚えていません。

只、長野のインターハイでは、試合前から、大会の雰囲気飲み込まれて、緊張でガチガチに、なっていましたね。

そのせいか、一回戦で敗退しましたね。

確か、惜敗だったと、記憶しています。

望月先生の、怒りが爆発していました。

「大差で勝って、大差で敗れる。」と言う、先生の言葉とは裏腹の、結果だったのですから・・・。

翌年の、熊本インターハイでは、2回戦だったかな？、その時は、大差で敗れたように思います。

実力と体力の差が、大きかったようですが、みんな、心地よく、負けを認めることのできた、試合だったように、思います。

そして、望月先生の、「大差で勝って、大差で敗れる」と言う、言葉の真意が、理解出来たようにも、思えました。

この試合終了後の帰路は、フェリーの予定だったのですが、台風接近の為、欠航となりました。

ここで、私の、最後の失敗がありました。

万が一に備えて、預かっていた、全員の学割証を、自宅に忘れて、出発してきたのです。

望月先生は、叱ることもせず、いつものコワいらしくも、カワイイポコちゃん人形のような、大きな目と笑顔、そして、大きな手を「キュッ、キュッ」と二度揉んで、全てを処理して、下さいました。

お陰で、無事、国鉄に乗ることが、出来ました。

天国の望月先生！、ありがとうございました。

そして、ごめんなさい。

本当に、失敗ばかりしていましたが、負けず嫌いの津熊さん、静かな闘志を秘めた中野さん（18期、中野千津子）、ムードメーカーの前田さん（18期、前田圭子）、いつも優雅だった小山さん（2年で退部）、4人の仲間に支えられ、高校時代を過ごすことができたこと、今なお、変わることなく、声掛けや、連絡をしてくれる仲間がいることに、大層感謝しています。

さて、次のバトン先は・・・、1年後輩（19期）の、おとなしかった戸井さん（戸井晴美）、小柄な小西さん（小西邦子）、毎日ボーイフレンドと登校していた竹村さん（竹村よし子）、更に1年後輩（20期）の、背高のつぼの魚住早苗さん。

皆さん、今はどんな風になっているのでしょうか？、どなたか、よろしくお願いします。



### 21期 魚住 美代子（旧姓、山本）

ある晩、同期の菊地（旧姓、岩本）さんから、突然の原稿依頼の、電話。

昨年の夏、長年介護していた父を亡くし、その後の忙しさから、会報を見ていなかったのも、まさか、私のところに回ってくるなんて・・・断り切れずに、引き受けたものの、何をどう書けばいいのか、悩みましたが、私が生きて来た人生の中の、わずか3年間、その当時のアルバムすら見る事も無く、年を取り、記憶も薄れて行く中、今一度、思い出して、「あ～私にも、こんな青春があったんや」と、思い返してみるのも悪くないかなと思ひ、書くことにしました。

中学の時、私はバスケットボール部に入っていましたので、高校でも、バスケットボールをやろうと、思っていました。

同じ中学の友人に、誘われるまま、バスケットボールに似てるよと言われ、軽い気持ちで、ハンドボール部に、入部しました。

入部して、寝屋高ハンドボール部が、大変な部であると、思い知らされました。

一緒に入部した、2人の友人は、すぐに辞めてしまい、残された私も、続けて行く自信など無く、やめようと思ったのですが、先輩たちから、引き止められ、最初の頃は、それほどつらい練習でも無かったので、やっていけると思い、続けることにしました。

が・・・やはり練習は、厳しいものでした。

けれど、常に先輩たちの、声掛けがありました。

特に、部長の戸井さん（19期生）の、「がんばろー」の甲高い掛け声は、今も、耳の奥に残っています。

あんなに小柄な体の、どこにすごいパワーがあるのか、いつも不思議でしたし、辛い時に、いつも優しく、声掛けしてくださった時田さん（19期生）の、笑顔、忘れません。

私が、何より辛かったのは、夕方暗くなってからの、キャッチボール。



目の悪い私は、闇の中から飛んでくるボールが、すごく怖かったです。

雨の日の練習は、校舎内での、階段ダッシュ。

これが、結構きつい。

ひそかに、「こわいだん、ダッシュ」と、呼んでいました。

きついといえば、春夏の合宿、私は牛乳が大嫌いで、高校に入るまで、飲んだ事はありませんでした。

けれど、合宿の朝食に、必ず牛乳が出ました。

朝練の後、喉が渴いているのに、嫌いな牛乳を、飲まないといけなないので。

合宿で、食べ物を残すことは、許されません。

何度、吐きそうになった事か。

けれど、そのおかげで、私は牛乳が、飲めるようになったのです。

新学期、大勢の生徒の中から、ハンドボール部の仲間を、見つけるのは、容易い事、春なのに、真っ黒に日焼けした生徒、それがハンドボール部の、仲間でした。

たぶん、どの部よりも、練習試合に明け暮れた、3年間。

辛い事ばかりでは、ありませんでした。

練習が終わり、帰りに立ち寄って食べた、びっくりぜんざい。

電車の中でのおしゃべり、その日の辛さも忘れ、翌日、また頑張ることができました。

3年間辞めることなく、続けられたのは、先輩、先生、そして何より、同期の仲間がいたから、頑張っただけののだと、感謝しています。

高校卒業後、スポーツとは無縁の生活を、過ごしてきましたが、社会生活を送る上で、人との関わり合いや、辛い事があっても、何とか頑張っただけのも、短くても、中身の濃い3年間、ハンドボールを続けた事が、今も元気で過ごせている事に、繋がっているのかなとも、思います。

同期のみんな、3年間ありがとうございました。

さて、次の伝言者ですが、同期の豊島さんしか、思い浮かびません。

どうか、よろしくをお願いします。



## 32期 寺岡 宏治

寝屋川高校ハンドボール部：この名称を口にする時、汗と土にまみれ、へとへとなりながら練習をし、帰りの駄菓子屋で、雑誌を

立ち読みしながら、パンとコーラをほおぼっていたボクや仲間、そして先輩や後輩たちの顔が、次々に浮かんでくる。

また、校内でばったりと出会う都度に、部費・部費（ブヒ・ブヒ）と迫ってきた、3人のマネージャーたちの、かわいらしい顔々。

同じく、苦しい練習後に、マネージャーから差し込まれた、冷たい麦茶や、試合後のレモン入り氷水。

我先に、汚れた手で、むさぼり食べたこと。

あの甘酸っぱさとともに、ほろ苦い高校時代・青春時代のことが、脳裏に、次々と広がっていく。

そんな時、同期（32期）の岸君や、同じくマネージャーの山本さんから、寝屋川クラブ会報リレー伝言板へ、ありがたい指名を受けた。

35年前の、ボクらのクラブ活動時代を、少しずつ振り返って、紹介してみたい。

当時、7人の同期と、3人のマネージャーで、チームをうまく編成することができた、幸せな時期であった。

実力は、近畿大会へ出場できるかどうかの、境ぐらいで、大会ごとに、緊張感がみなぎっていた。

今までも、同期が記載している、1年生最初の大会となる、新人戦で、初芝高校と対戦。

私の記憶では、体力的にしんどくて、バテバテの状態、試合が一進一退で、進んだという感じ。

相手は、少し過激なプレーを、何度もしかけてきて、その際の、接触プレーで、ポストの大地が、鼻の骨にヒビがはいる、大怪我を負う。

砂埃と汗にまみれ、さらに、血に染まった苦い敗戦が、チーム全員の胸に、強く刻みこまれた。

当時、寝屋川高校では、定期的に4～5校の、近隣高校を招聘し、合同練習や試合を行っていた。（たぶん、北岡先生（5代目・顧問）の顔で）

ライバル校も、多数参加しており、終了後、忘れていった各校の高校名入りボールを、ちゃっかりとキープしていた。

それらを、毎日の練習に使用し、打倒〇〇高と叫びながら、シュート練習を繰り返した。

新人戦での、リベンジを誓いながら、土日も休まず、黙々と練習に励んだ。

新年は、1月2日の成田山不動尊への、初詣ランニングと、OBとの正月試合。

なにもかも、置き去りにして、犠牲にして、勉学も忘れて、ハンドボールに、よくぞ打ち込めたものだ。

それに、付きあっていただいた、北岡先生をはじめとした、先生方にも、本当に感謝。

それらハードな練習の、甲斐もあり、我がチームは、そこそこ強いチームへと、変貌していった。

ついに、高校3年の最後となる大会が、母校で開催された。

対戦相手は摂津高校で、序盤から均衡状態が続き、試合は後半の終わりに、差し掛かっていた。

ボクは、右サイドの三木と、顔を見合わせ、練習で何度か試していた、スカイプレーを初めて、本戦でやってみた。

ボールが三木にパスされ、ゴールポストめがけて、狭いコースへと侵入していく。

それを見た、チームの岩本・大地・西山・宮本・岸が、「あかん・・・！」と、心の中で叫ぶ。

しかし、ゴールに伸びていくはずのボールは、中央から飛び込んだ、ボクの胸に納まり、着地ぎりぎりで、シュートを放つ。

スローモーションのように、ボールがゴールへと吸い込まれていくのを、確認できた。

着地がうまくいかず、尻もちをついたが、痛さも忘れて、全速力で自軍へ戻っていった時の、流れるような周囲の光景が、今でも、ありありと思いだされる。

そのまま勢いにのって、この試合に勝利。

次の試合は、近畿大会出場を決めるための、大切な大試合、対枚方高校戦。

激闘を演ずるが、僅差で敗退し、ハンドボール漬けの高校生活に、終止符が打たれた。

誰もが口数少なく、なんとか、帰路を急ぐが、足取りが重く、おぼつかない。

あの時の、やるせない、何とも言えない、空気感。

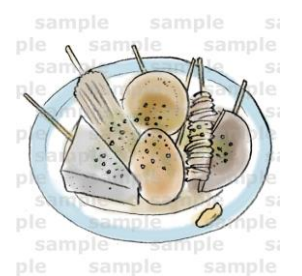
この当時の、風景と情景を思い出すたびに、ユーミンの「ノーサイド」の曲が、脳裏に流れだす。

大学時代に、ヒットした曲（1984年）だが、なぜか、この時の2つの試合のことが、いつも鮮明に思いだされる。

先頃、ラグビーワールド杯での、日本代表の大活躍を目にしたときも、同じように曲が流れだし、心の中で静かに、口ずさんでいた。

その後、ボクと仲間たち7人は、大学入試に、全員が玉砕。全てを犠牲にしてきた、結果かもしれない。

当然、これは言い訳で、クラブ引退後、真面目に勉学に、励まなかっただけ。（現役生は、まねしないように）







その後、仲良く浪人生活を送り、お正月のOB会にも参加しながら、全員が志望校へと、無事合格を果たした。

建築を志したボクは、大学卒業後、大阪創業の、(株)安井建築設計事務所（大阪ガスビルや大阪空港などを、設計した事務所）へ、入社し、現在、所長を務めている。

大学時代は、何かにつけて、ハンドボールの仲間たちと、集まったが、社会にでてからは、都合が合わなくなり、唯一の情報が、この会報に。

風の噂で流れてきたのは、大地が、枚方の市議員になったみたいやで・・・とか。

今度マネージャーも入れて、全員で集まりましょう！

余談ですが、寝屋川高校といえば、「真・善・美」。

女学校の良き校風が、寝屋川出身者のDNAとして、刷り込まれている。

数年前に、M女子大学の建築プロポーザルに、参画したおり、大学を見学している途中で、掲示板のポスターに記載されていた、真善美という文字が、目に飛び込んできた。

高校の校歌と、同じやなーと、つぶやくと、横にいた上司が、俺のところもおんなじやでと。

珍しいですねーと、言い合っていると、その後なんと、寝屋川高校の大先輩であることが、判明。

ちなみに、上司は卓球部。

寝屋川のOB同志ということで、さらに上司の同期を、紹介してもらった。

なんと、新地のママ（上通り森口）さんを、紹介していただき、もっとびっくりすることに、中学校の先輩であることまで、判明。

偶然が続くものだと、感嘆した次第。

2次会の際には、ぜひ皆様、ご利用ください。

最後に、次のリレー伝言板の指名ですが、同期女子の西森さん、1年先輩の北牧さんに、楽しい思い出話を、お願いいたします。



## 51期 稲葉 博志

51期の、稲葉博志です。

私のハンドボールの、思い出を紐解く前に、同期の山北くんとの思い出を、少し、書かせて頂きます。

山北くんとは、クラスも3年間同じ、名前も同じヒロシ（博士）という、奇妙な縁がありました。

また、山北くんは、とても成績が良く、いつもクールで、メガネをかけており、あだ名もズバリ、「メガネ」でした。

今となっては、恐ろしく、センスのないあだ名で、呼んでいたことに、反省の気持ちで、いっぱいです。

少し、話が脱線しましたが、なぜこの場で、山北くんのことを書いているかという、山北くんは、卓越したディフェンスセンスを、持っていたからです。

私は、1年生の時から、ゴールキーパーで、山北くんが、ディフェンスラインにいて、安心感が、全く違いました。

何度も、何度も、助けてもらいました。

山北くんの側からは、失点した、記憶がありません。

逆に言うと、対極の山内くん、長野良太くん側は、非常にザルだったと、記憶しています。

いかんせん、ディフェンスと言う、あまり目立たない能力なので、伝わりにくいかもしれませんが、とにかく、山北くんのディフェンスは、一級品だったんです。

なぜ、こんな話をしているかと言うと、今までは、気恥ずかしさもあり、山北くんに、感謝の気持ちを伝えたことが、ないからです。

出会ってから、20年近く経った今、あえてこの場を借りて、言わせていただきます。

「山北くん、いつも、ナイスディフェンス、ありがとう！。いつも、心強かったよ。」

山北くんの結婚式では、愛犬のチワワが、結婚指輪を運んでくるという、斬新な演出もありましたが、本当に、感謝の気持ちでいっぱいです。

いつか、みんなで集まって、ハンドをすることがあれば、私は、もう一度、山北くんの背中を見ながら、ゴールを守りたいです。

最後に、次のリレー伝言板の、引継ぎ者ですが、我らがキャプテンの吉田 洋くんか、浅沼 克くんか、長野 良太くん、お願いします。

おしまい。



## 65期 西垣 智哉

### 現役時代を振り返って

寝屋川高校ハンドボール部、65期のキャプテンをさせていただいていた、西垣智哉です。

現在は、同志社大学社会学部メディア学科で、勉学に励んでいます。

高校の思い出を、振り返ると、ハンドボールのことばかりが、鮮明に思い出せるような、ハンドボール漬けの、高校生活でした。

現役時代では、真夏でも、真冬でも、毎日走ってボールを追いかけていたのが、普通の毎日でしたが、今思うと、あの頃の自分は、よくやっていたと褒めてあげたいのと、今の、自分の体力の無さを、情けなく思うばかりです。

あの時は、バキバキに6個に割れていたお腹も、今では、一つに減ってしまいました。（笑）

僕が、寝屋川高校のハンドボールを通して、得たことは、大きく2つあると、思っています。

まず一つ目が、自分で考えることの、重要性です。

部活では、キャプテンをさせてもらっていたこともあり、自分たちの足りない部分は、何なのかを考え、それを踏まえて、練習メニューを、組んだりしていた経験のおかげで、自分で考える、習慣をつけることができました。

この習慣のおかげで、大学でも、周りの意見に流されることなく、自分が、何をしたいのか？、将来、どうなりたいか？を、自分で考えて、行動しています。

高校の時は、「勉強」と「部活」と、することが明確でしたが、大学になると、自由を手に入れられる反面、今の行動が、全て自分の将来に影響するので、この自分で考え、自分で行動することが、尚更、重要になりました。

2つ目に、組織力の重要性です。

ハンドボールは、ずば抜けた能力の選手一人がいても、勝つことはできません。

各々が、自分の役割を全うすることで、チームとして、成立すると思います。

僕は現役時代、本当に負けず嫌いで、自分のミスはもちろん、チームメイトにも、厳しく当たってしまっていました。

今戻って、チーム作りを、もう一度できれば、もっと、いいチームになり、ずっと、目標であった、中央大会へ、行けていたかもしれません。

現役の皆さんへの、メッセージは1つで、目の前のことを、本当に一生懸命、頑張ってください。

すごく、簡単な言葉ですが、実際、すごく難しいことです。

このくらいで、いいや、今日は、朝練サボっても、いいかなってというような行動は、後々、絶対に、なんらかの形で、返ってきます。

反対に、今を、無我夢中で頑張れる人は、今後、受験勉強になろうとも、そこでも、必ず頑張れるはずですよ。



僕も、現役時代は、夏の練習や、加堂さん（14期）、堀川先生（8代目・顧問）に怒られ、辛かったこともありましたが、今になっては、良い思い出で、たまにチームメイトと、会ったりすると、その話で、盛り上がっています。

現役皆さんは、常に感謝を忘れず、今を、最高に楽しんで下さい。



## 65期 金田 絵里香

65期の、金田絵里香です。

私は入学当初、ハンドボール部に入るつもりは、全くありませんでした。

なぜなら、中学3年間、バレーボールをしていて、高校に入ってから、続けようと思っていたからです。

仮入部が始まった頃、赤星先生（7代目顧問）からの、勧誘の電話も、きっぱりとお断りしたことを、今でもはっきり覚えています。

しかし、友達に誘われて、1日だけ、ハンドボール部の仮入部に、行きました。

あの時は、あんなにも激しくて、体力のいるスポーツだとは、知りませんでした。・・・、親しみやすい雰囲気と、熱心な先生、赤星先生の「ええ思い、させたる」という言葉に惹かれ、気持ちが変わり、入部を決意しました。

入部してから、私は、先輩方のチームで、試合に出してもらえるように、なりました。

出してもらいたての頃は、先輩方は強いし、何も出来ないし、試合に出してもらえる、ありがたみもわからず、呼ばれるまで、体育館の先生から見えない場所に、隠れたりしていました。

でも、後から考えると、本当に恵まれていて、出してもらって、学ぶことがたくさんあり、先輩方が、フォローして下さり、とても良い経験でした。

私たちの代のチームに、1つ下の後輩が、出ていた時、その後輩に、相談されたこともありました。

だから、今の現役の子たちに、言いたいです。

辛いし、しんどいし、何をしたらいいか、わからないと思うかもしれないけど、先輩が、絶対助けてくれるから、先輩に混ざって、自分がどこまでやれるのか、楽しんでほしいです。

練習や、練習試合をする中で、言われたことを出来ない、自分にいらいらすることも、多かったですし、練習がハードで、さぼりたいと思ったことも、正直ありました。

それでも、3年間続けられたのは、一緒に頑張る仲間が、いたからです。

65期のみんなは、個性が強く、賑やかで、騒がしく、マイペースで、毒舌で、気さくで、ほんとに優しいです。

ミスをしたり、怒られた後、影で声をかけて、励ましてくれ、マネさんも、プレーに対する、アドバイスをくれたり、私が感情的になっていたら、なだめてくれました。

みんなでいる時は、何をしても、楽しいし、言いたいことは、素直にいい合うので、喧嘩もないし、1人になりたいときは、なんの気まずさもなく、1人になれます。

こんな65期とだったから、がんばれました。

みんなとは、今でも定期的に、集まっています。

レンタカーを借りて、イチゴ狩りにいったり、BBQをしたり、高校時代に、よく行っていたガストで、5・6時間喋ったり、飲みに行ったりしました。

近況報告もしますが、やはり、話している、一番楽しいのは、高校時代の思い出話です。

今だから言える話や、笑える話もあるし、毎回話す内容は、同じような気もするけれど、何回話しても、楽しいです。

これからも、ずっと付き合っていきたい、大切な友達です。

最後に、次のリレー伝言板の、指名ですが、同期女子の森脇さん、1年後輩の古川さんに、楽しい思い出話を、お願いいたします。

① リレー伝言板では、OB・OGの皆さんを、大体10年単位で8グループに分けて、皆様に近況やハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を、自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へ、リレー形式でつないでもらっています。

② また、掲載された内容についての感想、コメント等（字数制限なし）、あなたの熱いメッセージを、お寄せください。（事務局・20期寺西）

会員の皆さんに紹介をし、会員相互間の親睦の輪を、繋げていきたいと思っています。

③ 今回のリレー伝言板の記事で、次号指名された方には、次号会報発行前にOB・OG会事務局より、原稿依頼の連絡を、させていただきます。

次回は、あなたが指名されるかも…。

## < 編集後記 >

①21世紀になり、早や15年、2015年もあと20日間で、暮れようとしています。

今年の春には、寝屋川出身の又吉直樹さんが「火花」で、直木賞を受賞し、脚光を浴びましたが、夏には、中学1年生の男女が殺されるという惨たらしい事件で、有名になった寝屋川市。

来年は、いいニュースで、注目されることを願うところです。

②住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、下記、事務局まで、ご一報ください。

<事務局> 寺西 啓三 (20期)

〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8

メールアドレス [kkteranishi@yahoo.co.jp](mailto:kkteranishi@yahoo.co.jp)

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

